

青山商店



代表者 青山 優香

所在地 群馬県高崎市箕郷町矢原1062-157

事業内容 飲食業、移動販売、ダンススタジオ

参加の背景

カフェ運営やフラダンス教室、キッチンカー事業など多角的な事業を展開してきたが、代表の青山氏1人に全業務と判断が集中する属人的な経営体質が大きな課題となっていた。

やりたいことや事業のアイデアが多すぎるあまり、リソースが分散して何から着手すべきか優先順位が不明確な状況にあり、将来的な成長に向けた足元の経営基盤とマネジメント体制の再構築が急務であった。

こうした状況を打破するため、自身の戦略に共感し、実務を任せられる人財の採用・育成を通じた「自走型」組織への転換を志した。

策定ビジョンと変革プラン

経営ビジョン

地域資源と多様な雇用を活かし、誰もが自分らしく活躍できるフィールドを創出する「ライフスタイルコンシェルジュ集団」を目指します。

中期ロードマップ

売上ベースで年平均35%の成長を目指す。移動販売事業の2台体制確立による収益力強化を足掛かりに、R8期には国内ECを、R9期からは越境ECを本格稼働させる。

マーケティング 変革プラン

まずは国内EC事業の本格稼働を推進。
また、Google ビジネスプロフィールの徹底活用やブログによるSEO対策を実施し、フラダンス教室等の各事業のデジタル集客導線を強化した。

代表が現場プレイヤーから「営業・マネジメント」中心へ移行するため、各事業責任者への権限移譲を断行。スタッフの人生目標を理解し、現在の仕事とのリンクを可視化する「ビジョンメイキング」や「月例1on1ランチ」を導入し、信頼関係を基盤とした自走型組織への変革を開始した。

組織・人財プラン

スタッフとの月例1on1ランチを導入。対話を通じて個々の人生目標を理解し、強い信頼関係を構築。



取組成果

キッチンカー2台体制の確立により、月間売上100万円規模を見込める収益基盤を構築した。また、1on1の定着によりスタッフとの信頼関係が深まり、代表が現場を離れマネジメントへ移行できる体制が整った。デジタル施策も新規生徒増などの実客数に直結し始めている。



今後の課題

国内ECの安定稼働に続き、日本らしさを活かした骨董品等の越境ECサイトを開設する。中長期的には、多角化経営の自走精度をさらに高め、地域貢献の柱となるワイナリー事業の実現を目指す。